

# ウォーキングクラブ 9月定例会・瀬戸街歩き窯垣の小径散策 実施日：2022.09.15（木曜日）



瀬戸駅前ロータリーの銅像・陶塑像の芸術鑑賞



神社には中興の祖加藤民吉が祀られていました

今年の夏も、連日の猛暑日が当たり前になり熱中症感覚と判断力が低下し、その上コロナウイルス禍の第7波の影響で外出の機会が減り、体力も下降しロコモティブシンドロームが気になります。

中秋が過ぎたとは言え、日中はまだまだ暑い日が続きますが、2ヶ月振りの定例会になりました。

名鉄大曾根駅改札口前に女性5名、男性9名の14名の有志が集合しました。

快速尾張瀬戸行き9:15発に乗車し、尾張瀬戸に9:39に降車しました。僅か24分の乗車ながら緑の山並みに囲まれた陶都に到着。改札口をmanakaをかざして通り抜け、パルティセとに寄り道して小用、駅前ロータリーの観光マップの前でスケジュール説明と安全ウォーキングの確認をしました。

駅を後にして先ず始めに窯神神社に直行、神社は丘陵の山頂にあり、急登の真直ぐな石段を鉄パイプの手摺を掴み一步一步息を弾ませながら山頂のお社に向かいます。お社には中興の祖加藤民吉が祀られています。コンクリートによるドーム型の登り窯をイメージしたユニークな笠屋根で覆われたお社がありました。他に加藤民吉の銅像や、顕彰碑・慰霊碑等がありました。

最近建てられた新しいコンクリート展望台から、瀬戸の街並みを俯瞰すれば、瀬戸川が東西に流れ、瀬戸蔵をはじめ、パルティセとが足元にあります。古い街並みの麓の波の先には新しいマンションが建て替えられ古い街と新しい街とが複雑に混ざり合い徐々に新しい住宅地に変身する姿を確認する事ができます。遠くには屏風のように猿投山から物見山の尾根稜線がくっきりと確認ができました。

展望台を後にして、駐車場から北側を展望すれば、広大な陶土・珪砂の土取場を眺める事ができました。また、その先には愛知県境の定光寺の山陵を眺める事ができました。

窯神神社の山頂で展望を堪能して無風庵に寄ります。小原村から移設された茅葺の古民家は、斬新なデザインで半割の丸窓はユニークでモダンな感覚を取り入れ、和洋折衷した改装工事に脱帽ものです。

また、今年初めて広場で彼岸花を見つけ、季節の移り変わりに気が付き、彼岸が近い事を知りました。

その後、法雲寺の陶製梵鐘を見学し戦争中の物質の無い社会情勢を思い昔を思いました。

坂を下り、1200年以上の歴史を誇る瀬戸の産土神の深川神社・陶神社に寄り安全ウォーキングの願いをしました。小さな公園のベンチで小休止で水分補給した後、南に向かい歩道橋で国道と瀬戸川を渡り、末広町商店街を通り抜けて一路宝泉寺に向かいます。古刹の曹洞宗・宝泉寺は、山門は珍しい竜宮門です。通り抜けアーチ部は白い漆喰で仕上げられてあり、山門と土塀の腰壁は海鼠(なまこ)壁で白い漆喰と燻し瓦のコントラストが鮮やかなデザインに眼が点になりました。

本堂には金色の釈迦如来坐像が安置されていました。格天井の見事な絵に驚嘆し、精緻な欄間や、折り上げ天井に時間を忘れ見とれてしまいました。

広くて天井の高い本堂は幾分涼しく休息を取る事になり皆さんリラックスマードになりました。

やがて山門を出れば窯垣の小径を辿ります。自然豊かな小径は彼岸花が咲き乱れ野趣豊かな自然の地形に沿っての土留め擁壁が、窯の道具の棚板・つく・えんごろを見事に活かしたデザインは昔の職人の腕の見せ所を遺憾なく表現されていました。

人工物が自然に溶け込み何ら不自然無の無い状態は時間を超越して何時までも歴史遺産として後世に残して欲しい自然との共生環境です。

小径の途中にある、窯元の古民家を改修した資料館ギャラリーに立ち寄り、昔のトイレや浴室の衛生陶器・タイル装飾など立派な仕事に感嘆しました。また、ガラスケースに飾られた馬ノ目模様の皿や、染付の大皿等を見れば昔の絵付け職人の技の見事さに驚くばかりです。



羊腸の様な山道の小径を下れば歩道のある一般市道に合流して、大きな側溝に沿った歩道を下って銀座通り商店街に至り、各自めいめいご自由にランチタイムとし、自由解散になりました。

他のグループは手打ち蕎麦の志庵に行かれ、小生のグループは夏バテ解消のため田代のうな丼を食するつもりでしたが、ガラス戸に大きく「店主病気のため臨時休業」との張り紙、ガッカリしたが、気を取り直して大福屋の焼きそばになりました。末広町商店街に戻り、食後の珈琲はサウサリートに寄り青磁の個性豊かなコーヒーカップで芳醇な珈琲の香りを堪能し味わい、のんびり時間を過ごし、14時過ぎの電車で帰宅しました。

ところで、小生も含めて未だ夏の猛暑の疲れが残る今日この頃は、体調管理を考え無理せず、のんびり散歩ができました。因みに今日1日の家からの歩数は14,000歩、歩行距離は9.8kmでした。

(写真 30期 北川健一・作文 31期 宮田 いわを)



窯神社展望台で集合写真、背景は猿投山から物見山の尾根稜線



背景は古民家無風庵の慰霊塔



窯神社のま直ぐな急登の石段は胸突き八丁



何の説明? 「ランチは何処の店に行きますか」



古民家は解体撤去、新しい分譲住宅に建替工事中



深川神社に安全ウォーキングのお願い